

「開会挨拶」

株式会社 MTI 代表取締役社長 石塚 一夫

MTI の石塚でございます。

弊社テクノフォーラムは 2009 年から開催しており、今年で 12 回目を迎えることとなります。

例年ですと会場を借りて皆様と対面で行っていますが、残念ながら今年はコロナ対策の為にオンライン開催といたしました。

過去 15 年間の MTI の研究開発の軌跡を振り返ってみますと、先ず初期段階ではエマルジョン燃料ボイラーのような海務、工務技術的なものから始まり、省エネガバナーや空気潤滑のようなハードウェアの省エネ技術へ発展して行きました。それと同時に IoT 時代の先駆けとして、SIMS と呼ぶデータ収集システムを開発し、データ解析、見える化を行い、船舶フリートの最適運航、配船を高度化してきました。そしてソフトウェアの重要度が増し、自動避航、機関自律化等のような今日、システムインテグレーションと呼ばれる領域に入ってきました。データ収集のためのセンサー類はますます発展し、実船スケール、実海域におけるデータ収集のレベルは高度に向上しています。MTI は今、この第二段階に居ると思いますが、今後はさらに高度船舶管理システムや顧客要望の安全運航の実現、すなわち、止まらない物流の実現に向かって行くものと考えます。それらは長期的未来像で言えば、自律運航船や GHG ゼロエミッション船のようなものになり、我々物流企業グループの ESG 経営に貢献して行くものと考えています。

今年のテーマは第 1 日目が「自律運航船は今後どのように実現されていくか？」で、皆様と一緒に長期的視点で未来像を考えてみたいと思います。第 2 日目が「システムインテグレーションはどのように進むか？」で、これは足元の話として、今取り組んでいる近未来の現実的課題です。

MTI は研究開発活動を通して、システムインテグレーションに取り組む人材を育成し、日本郵船の運航船をベースとしたユーザー目線を以って、機械と人の役割が統合するシステムインテグレーション作りに貢献できればと考えています。今回は 2 日間それぞれのテーマでパネルディスカッションを設けていますので、関係者の皆様の貴重なご意見、そしてそれぞれのテーマに関して活発な議論を期待しています。

2 日間にわたるオンライン配信となりますが、何卒お付き合いのほどよろしくお願いいたします。

最後に、日ごろの皆様の MTI へのご関心、ご支援に厚く御礼申し上げて私の挨拶といたします。

どうもありがとうございます。